



平成 30 年 7 月 30 日

各 位

会社名 三菱製鋼株式会社
代表者名 取締役社長 佐藤 基行
(コード番号 5632 東証第一部)
問合せ先 経理部長 細谷 光明
(TEL. 03-3536-3135)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 4 月 27 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 65,000	百万円 1,300	百万円 900	百万円 700	円銭 45.50
今回修正予想 (B)	65,000	930	310	380	24.70
増減額 (B-A)	0	△370	△590	△320	—
増減率 (%)	0.0	△28.5	△65.6	△45.7	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	57,918	1,696	1,545	811	52.74

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

第 2 四半期累計期間の連結業績につきましては、建設機械業界および自動車業界の需要が堅調に推移したことにより、売上高は、前回予想数値と同水準を見込んでおります。営業利益は、ばね事業におけるカナダ子会社で調達する材料に関して、同国の関税政策に伴うコスト増加の影響が見込まれること、前連結会計年度末から子会社化した販売拡大の途上にあるインドネシア鋼材事業合弁会社(JATIM 社)において、顧客の材料承認遅れ並びに在庫調整による販売計画の未達があり営業損失が拡大したため、当初の計画を下回る見込みであります。また、経常利益は、営業利益の見直しに加え、JATIM 社でのインドネシアルピア安による為替差損により当初の計画を下回る見込みであります。

通期業績予想につきましては、引き続き主要顧客の需要は堅調に推移する見込みであり、売上高は前回予想数値と同水準を見込んでおります。損益は、第 3 四半期以降、特殊鋼鋼材事業における売価改定の浸透と、JATIM 社における販売が進展すること、また、カナダの関税強化は、除外申請によりコスト影響は回避できる見込みであることなどから、平成 30 年 4 月 27 日公表の予想数値から変更ありません。

(注)業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々に要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以 上